

臨地実習【基礎看護学実習Ⅱ】

所属/担当教員	衛生看護学院 看護科 教員		
対象学年/開講時期	第2学年/前期	単位数	2単位
履修の目的 対象の看護過程を展開する基本的能力を身につける。			
授業の形式	臨地実習		
授業評価の基準等	出席状況および実習状況を評価表に基づいて総合的に評価する。		
教科書・参考図書	これまでの看護全般の講義で使用したテキストおよび資料		

【授業計画・内容】

実習目標

- 1) 対象を把握し看護の必要性が判断できる。
- 2) 個別的な看護計画を立案できる。
- 3) 計画に基づき看護が実施できる。
- 4) 実践した看護を評価できる。

実習内容（詳細については実習要綱の「基礎看護学実習Ⅱ」を参照）

実習施設：平鹿総合病院

実習方法：

- 1) 患者1名を受け持ち、看護過程を展開する。
- 2) 受け持ち患者を決める場合は、以下について考慮する。
 - (1) 成人期・老年期にある患者
 - (2) ある程度コミュニケーションが図れる患者
 - (3) 日常生活援助が必要な患者
 - (4) 診療にともなう介助が必要な患者
 - (5) 急変の可能性が少ない患者
- 3) 毎日の行動計画を立て、それに基づいて実習する。
- 4) 毎日、カンファレンスを病棟で行い、2週目にケースカンファレンスを行う。
- 5) 実習終了後、学内で「実習のまとめ」を実施し、学びを共有する。